

令和2年度第3回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2020年5月11日（月）

時間：18時30分～20時40分

会場：オンライン会議にて実施

出席者：一川邦彦、寺本祐治（以上副会長）、関谷淳一（監事）、久我晃広（理事長）、成田健一（副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、臼井伸一、桑原一矢、西澤英一郎、三澤孝康、栗原崇、下平歩実、川口雄大、大野陽介、高田良太、近藤聡史、菅野芳哉（以上常任理事）

森翔平（学連委員長）、山本文葵（競技委員長）、鈴木雄介（審判委員長）、渡邊珠子（表彰委員長）、松田和真（広報委員長）、飯塚美里（財務委員長）、石川宝（コンプライアンス委員長）、山本真央（書記）、来栖しえる、池田拓巳、石田紗英（以上学連委員）

古屋会長が欠席のため、一川副委員長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. 春季リーグ開催可否について

- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、無期限延期となっていた2020年度関東学生ホッケー春季リーグの開催可否について、協議を行った。
- ・森学連委員長より、各大学からのアンケート結果について報告があり、協議の結果、中止との判断に至った。
- ・協議結果を踏まえ、以下内容の文書を、加盟各チームに発信することとした。

- ・春季リーグは「中止」といたします

関東学生ホッケー連盟では各チーム学連委員を通し、所属大学の課外活動方針、それを踏まえた各チーム活動自粛期間、また所属大学の試験期間等について調査・確認を行いました。各チームによって活動自粛期間は異なっており、一部チームは7月・8月まで活動自粛を余儀なくされております。

今後、5月31日に緊急事態宣言が解除され、各チームの活動が再開可能となったとしても、現状は全く練習ができていない状況を考えると、直ちにリーグ戦開催することは難しく、相応の練習期間を確保する必要があると考えます（試験期間と日程が重なることも懸念されます）。

以上から、誠に残念ではありますが、春季リーグは「中止」との判断に至ったものです。

今後は秋季リーグを確実に開催できるよう、準備を進めていきたいと考えます。

- ・各チームにおかれては、緊急事態宣言発令中は感染拡大防止のため、複数人で集まっての自主練も含め、練習の自粛を徹底いただくようお願いいたします。改めて、感染予防徹底をお願いする次第です。

2. インカレ出場チームの選定方法について

- ・2020 年度関東学生ホッケー春季リーグ中止に伴い、インカレ出場チームの選定方法について協議を行った。
- ・協議結果を踏まえ、新型コロナウイルスの感染状況をみて、可能であればインカレ出場チームを決める予選会を開催すること、それを開催することが不可能だと判断された場合は 2019 年度関東学生秋季リーグの結果をもとに出場チームを選定する方針を確認した。
- ・別途、日学連で第 19 回全日本大学大会の開催について協議予定であり、同協議結果を踏まえ、関東学連の出場枠も決まるため、選定方法については継続協議とし、競技委員会にて検討することとした。

3. インカレ実施会場他について

- ・宮澤事務局長より、2020 年に開催予定であった東京オリンピックが延期したことにより、今年度のインカレを大井ホッケー競技場で開催できる可能性があるとの説明があった。
- ・駒沢と早稲田東伏見、慶應日吉グラウンドを利用する既存案と、既存案に加えて大井を利用する案について、新型コロナウイルスの感染状況（感染防止策）、予算との兼ね合い、およびグラウンドを所管する東京都等の折衝状況を勘案し、判断していく方針を確認した。
- ・広報普及委員会において、本年度のインカレ運営にあたっての運営対応方針と、大会収支のシミュレーションについて検討を進めることを確認した。
- ・また、一川副会長より 2021 年度のインカレ実施会場について報告があった。2021 年度は大井は使用できない見込みであり、6 月末までに決定したい旨の報告があった。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 森翔平